

小山勇朗市議会報告

2019年
11月25日

社民党仙台市議団
太白事務所



先の仙台市議会議員選挙では、地元の皆様はじめ多くの方々のご支援を賜り、九期目の勝利を勝ち取る事ができました。心から厚く御礼申し上げます。与えて頂きました四年間、郡市長を先頭に市政発展、地域の発展に精一杯頑張る所存であります。今後もしよろしくお願ひ致します。

選挙後に臨時議会が開催され、議長や副議長の選出が行われる事になり、小山議員は、年長のゆえをもって本会議場の議長席に着席し、議事を進めることになりました。仙台市議会では九期が一番古く、年齢も七十一歳が最年長になりました。

小山議員は、経済・環境常任委員会、スポーツ振興調査特別委員会に所属する事となりました。また、広域行政の分野では、仙台市・川崎町の常任委員、仙台市・名取市の委員として活動する事になりました。



臨時議会で議長代行を務める小山議員

さて、選挙後に開催された第三回定例議会は、九月一九日に召集され、一〇月二十三日に終了しました。今議会は、平成三十年度の決算議会であります。その決算が、一票差で認定されないという事態に至った事は大

変大きな問題であります。

否決に回ったのは自民の15名、公明党9名、蒼雲の会3名であります。その理由は、一〇数年前から発生していた道路照明灯に係る電気料金について、東北電力と仙台市が和解したにもかかわらず、過払いによる損失や補填の考え方について納得できる説明になっていないというのが理由とされています。

では、東北電力との和解した内容について明らかにすると、①仙台市は、東北電力に對し、令和元年五月分までにおける道路照明灯に係る未契約分(未払い分)の電気料金として一千四百四十万円(一〇年の時効を迎えていない分)を支払う。②東北電力は、仙台市が実施する道路照明LED化事業に賛同し、仙台市に對し、協力金として四千六百万円(過払い金九千二百万円の半額)を支払う。③仙台市及び東北電力は、仙台市と東北電力の間に

は、令和元年五月分までにおける道路照明灯にかかる電気料金に關し、各条項に定めるもののほか、なんらの債権債務がないことをお互いに確認する。という和解内容であります。

また、市長及び副市長の給料減額も議案として提案され、市長の給料月額二〇%、副市長一〇%減額を十一月から令和二年一月までの三ヶ月間を全会一致で承認しているのであります。職員に対する口頭厳重注意処分は建設局長、建設局と区役所の担当課長、部長など四十名に行う内容も示され、更に、この道路照明灯問題については、全体会の中で集中審議も行い、議論が交わされ十分な説明もなされたはずであります。しかし、付帯意見までつけて否決するというのは

全く理解できません。今後の中で更なる議論を展開していきたいと思えます。

この第三回定例議会では社民党仙台市議団としての代表質疑に石川建治議員、一般質問ではひぐちのりこ議員、新人の・いのまた由美議員が行いました。

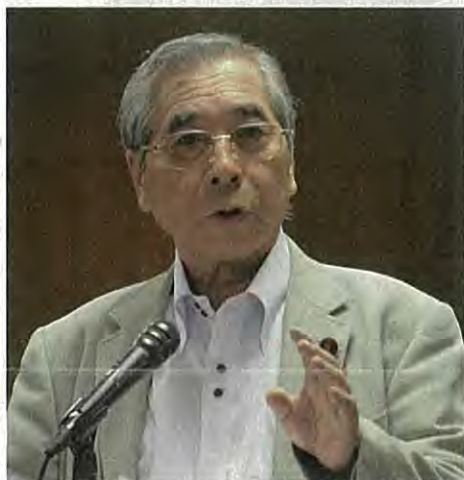
代表質疑では、①せんだい都心再構築プロジェクトの推進について、②本市経済の行方について、③消費増税の認識について、④道路照明灯問題の東北電力との和解について、再発防止について⑤仙台市水道事業の会計利益処分や将来見通しの基本計画について、更には、宮城県が進めようとしている水道事業の運営を民間企業に委ねる「コンセッション方式の導入」問題について、⑥一般会計・特別会計決算認定については、収入未済額、住民福祉の充実などについて、⑦自動車運送

事業会計決算について、⑧仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例に関して行いました。一般質問では、①市有財産の売り払いと公立保育所を民営化した後の敷地の考え、住民意見の反映について、②地球温暖化について③生活保護の取り組みについて、④生活困窮者自立支援事業等について、⑤地下鉄東西線沿線賑わい作り、⑥大学との連携、WEプロジェクトの展開や、八木山動物公園駅てっぺん広場の活用等について行っています。

意見書については、「児童虐待防止策のさらなる強化を求める件」について全会一致で採択されました。

小山勇朗議員は、決算等審査第一分科会において、①仙台市選挙管理委員会の五年間の中で発生した様々なミスに

ついでに総括と間違いを防止するための対策に向けて、実務に通じた人材育成の取組み、選管としての意識改革、投票率を挙げるための対策、区の選管含めた人員配置の基本的な考え方、郵送による投票行為の範囲、周知の方法、介護五以下の方や手の振るえ



などによる文字の書けない方の代理投票について行いました。更には②児童福祉費中・認可外保育所の年一回の立ち入り調査の実態、不適合と判断された場合の無償化対象の可否、私立保

育所の質の向上に向けた取り組みと、賃金不払い事件の経過について、待機児童対策と無償化による増加含めた受け入れ態勢、今後の家庭支援の考えについても質しておりま

す。
仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例が全会一致で承認されました。

地球温暖化による自然災害が毎年発生し、台風被害・豪雨による被害によって多くの方々がお亡くなりになっています。また、被災者された方々の多く皆さんが未だに避難生活を強いられる状況となっています。世界各地でも山林火災や水害が発生し大変な状況となっています。仙台市は、率先して地球温暖化対策に取り組む事として条例を制定することとしたものであります。条例の目的は、地球温暖化対策等の推進に関し、基



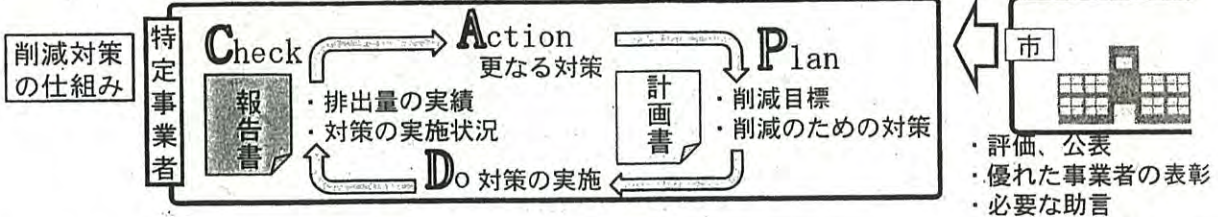
本理念を定め、市・事業者および市民等の責務を明らかにするとともに、地球温暖化対策等を推進するために必要な事項を定めることにより、地球温暖化対策等を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の良好な環境の確保に寄与すること。

「基本理念」は、①地球環境への負荷が少ない持続的な発展が可能な都市の実現を目指すこと。②杜の都の良好な環境を将来の世代の市民へ継承する事を目指すこと。③気候の変動による影響に対応した安全で安心な地域社会の実現を目指すこと。④地域経済の発展及び市民生活の向上との調和を図ること。となっており、特定事業者も基準を決めております。

特定事業者

- 本市の区域内に、年度における事業活動に伴う原油換算エネルギー使用量が、前年度において市長が定める量(※2)以上である事業所を設置している事業者
- 本市の区域内に、年度における事業活動に伴う温室効果ガスのいずれかの物質の排出の量が、前年度において市長が定める量(※3)以上である事業所を設置している事業者
- 自動車運送事業を営業者で、使用の本拠の位置を本市の区域内に登録している自動車の総数が、前年度の末日において市長が定める台数(※4)以上であるもの

※2 1,500キロリットル/※3 3,000トン/※4 100台(いずれも条例施行規則で規定)



一〇月十三日の台風十九号がもたらした被害は大変大きなものとなりました。

お亡くなりになられた皆様にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様から心からお見舞いを申し上げます。

仙台市全区における台風一九号による被害状況は(一〇月二十三日現在) ①人的被害は死者・若林区一名、太白区一名、不明者・若林区一名、重傷・青葉区一名、軽傷・十二名、②住家被害・床上浸水191件、床下浸水・一八五件、③道路冠水・一七九件、④がけ崩れ・九三件、⑤河岸侵食・三箇所、⑥その他・道路陥没十一件、倒木一一八件、最大避難者数六千五四九人という状況です。

太白区内の被害状況は、道路冠水三十二箇所、倒木二十三件、法面崩壊二十五件、施設破損十六件、路肩流失三

件、路面流失四件、道路清掃八件となっています。

小山議員が調査した地元小学校の避難状況は、①袋原小学校・運営委員三〇名、町内会ごとにローテーションを組んで、避難者三四一人に対応。使用した教室は二階、三階、四階、食事は二〇〇食用意した。体振も関わった。大変だったのは、学校のすぐ裏手にある老人施設からの避難者対応で、歩行困難者二十七人、三部屋使用。翌朝六時〜七時の間に全員帰宅。②四郎丸小学校・運営委員八名、避難者は八一人、五部屋使用、食事は一九人、翌朝七時全員帰宅。③東四郎丸小学校・運営委員二〇名、避難者七一人、翌朝六時四〇分全員帰宅の状況でした。学校職員は夕方四時まで待機指令の下二名が残り頑張っていました。

去る、一〇月二十三日、社民党仙台市議団として例年提出している「市政運営および令和二年度予算に関する要望書を郡市長に提出しました。

市政運営に関する要望は①「条例の制定」として、子ども の権利・交通基本・給付型奨学金・公契約の条例制定を求めています。②透明性の高い市政運営・行財政改革等に関して、③市民生活に関してとした「非核平和都市宣言、女川原子力発電所の稼働永久停止・廃炉を県及び東北電力に申し入れる事。石炭等火力発電所の新設・稼働に当たってはCO2削減、地球温暖化対策の視点に立った対策を求めています。全市的な要望としては百五項目、各区における要望は青葉区一五項目、宮城野区は一四項目、若林区は十四項目、太白区は「南仙台駅の

橋上化」の新しい要望をはじめ二四項目、泉区は一五項目となっています。



郡市長に令和二年度予算に向けた要望書提出

太白区の主な要望内容は都市計画道路郡山折立線の整備促進、南仙台四郎丸線の更なる整備延長、中田地区の西浦・前田の踏み切り高架化に、南仙台駅の橋上化、郊外地区の除雪開始時間を早めに、後田川の災害対策・定期的な除草含めた河川管理、四

郎丸ポンプ場の建設年度を明らかに、名取川の中洲除去を、都市計画道路長町八木山線、郡山折立線の信号間隔・道路障害物の整理など安全強化を、西多賀中学校のネットフェンスを高く補修を、上野山小学校の校舎・体育館の全面改築を、金剛沢小学校の体育館の改築、四郎丸小学校の改築計画通り実施すること、新校舎ができるまでの間、冷房装置を取り付けること、松ヶ丘・恵和町地域に公園



の建設、市道緑ヶ丘線の恵和町交差点への信号機設置を、中田中央公園のサッカー場を芝生化に、向山遊園の入り口改善・トイレの改修・遊具の補修、湯元公園のトイレの改修・遊具の補修、名沼公園・後田公園の樹木の選定を、中田町堰場の交差点に信号機の設置を、都市計画道路南仙台四郎丸線の植栽選定を年三回に、金剛沢三丁目と鉤取三丁目・金剛沢橋の五差路に信号機設置を、上野山一丁目付近の狭隘道路の改良、八木山香澄町・松波町付近の歩道・道路の改修、西多賀小学校正門側の通学路改善等を求めています。